2026/06/01

令和 7 年度

東洋理容美容専門学校

自 己 評 価 表

学校法人東洋理容美容学園
東 洋 理 容 美 容 専 門 学 校

1.学校の教育理念、教育目標

「衛生を重視する職業人としての自覚と認識を深めさせ、理容師・美容師として、健全な社会生活を営むために必要な、態度と能力を育成する」という理念に基づき、具体的に

1. 全力を注いで学習し、人格を陶冶する
2. 自ら創意工夫できる力を養う
3. 優れた技術は実践だけでは得られないということを認識し、体系的知識を身に付ける
4. 健康増進に努め、環境衛生を実践する
5. 服装、態度、言葉づかいは社会の成員として特に留意すべき事柄であり、内面と外面を兼ね備えた職業人を目指す

という、5項目を目標とする。

2.令和7年度の目標、計画

本校は、理容美容の専門的な知識・技術を習得させ、職業意識の高い人材を養成することで理容美容業界の人材需要に応えており、職業を通じて一人ひとりの夢や希望の実現を支援し、社会の公衆衛生を守る人材を育成する教育機関として大きな役割を果たしております。

我が国が目指す未来社会 Society 5.0 の実現には、人材育成がなによりも重要であり、キャリア教育の必要性が高まってきております。SDGs、DXなど学生の将来の環境が変化する中、どのような能力を備えた人材を輩出するかを考え、長期的な展望のもとで業界構造を想定し、そのための教育はいかにあるべきかを真剣に考えていくべき時であり、世の中に強くアピールするべきと考えます。理容美容職業教育の要となる本校は、十分に理容美容業界の要望を聞き、注意して、的確なる人材の養成に心がけ、真の職業教育はどのようなものかを真摯に考え、教育面に着実に反映させることが求められています。また、「職業実践専門課程」の質を担保するためにも、業界との良好な協力関係を構築し、教員の教育力向上のための研修、学習環境の整備を継続しなければなりません。

千葉市に立地し、主な入学生募集地域を千葉県及び茨城県南部とする本校が少子化と地方過疎化諸問題を抱える中で安定した学校運営が出来るようにするためには、本校の価値を確立し「選ばれる学校」になる必要があります。また、県外入学生推進、社会人受入、卒業生の学び直しも重要課題です。特に令和6年度からスタートしたプロフェッショナルコース(3年制教育)や卒業生へ向けて「修得者課程」の広報に注力する必要があります。

県内唯一の理容美容併設校である本校の価値を広く知らしめ、東京特区でスタートした外国人就労や留学生受け入れも視野に入れ、学生募集を広く展開することも必要と考えます。

新本館完成、1号館耐震改修リニューアル、2 号館改修、3 号館補修により、更に安全で快適な学習環境を確保できました。今年度も以下の諸事業も継続的に推し進めて行くことが必須になります。

1)教員の教育力向上、学校管理者の指導力向上、社会的変化を認識し教育に資するための研修を実施し、教職員の能力向上を図る。
2)社会に広く本校を知らしめるために、効果的な広報活動を展開する。
3)理容美容の仕事の有意性を多くの高校生や中学生に理解してもらうための職業教育活動を展開する。
4)質の高い職業人育成のため、学習環境の整備、教育内容の見直しを図る。
5)災害、感染症対策のためオンライン授業など教育体制を整備する。
6)学生の学費負担軽減措置を模索する。
7)広く寄付金を募り、教育の充実、発展のための原資とする。
8)海外学生交流、姉妹校交流など独自性を発揮する。
9)後援会、同窓会を活用して教育の充実を図る。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念、教育目標

評　価　項　目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	(4) 3　2　1
2	学校における職業教育の特色は何か	(4) 3　2　1
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	(4) 3　2　1
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	(4) 3　2　1
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	(4) 3　2　1

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

4 において、ホームページ及び来年度生募集メインパンフレットに記載している。

5 において、業界のニーズを的確につかむため、各業界との連携体制を確保して、教育課程編成委員会を設置し、カリキュラムの編成を行っている。

(2) 学校運営

評　価　項　目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(4) 3　2　1
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 (3) 2　1
3	人事、給与に関する規程等は整備されているか	(4) 3　2　1
4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	(4) 3　2　1
5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 (3) 2　1

6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	(4) 3 2 1
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	(4) 3 2 1

① 課題

2 において、規則が無い運営については必要に応じて会議を開催し、有効に機能している。

5 において、教職員のコンプライアンスはとれているが、広く社会に対して体制が整備されているとは言い切れない。

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

6 において、ホームページやSNSで積極的に情報発信をしている。

7 において、DX化を進めた結果、週休3日制を実現している。

(3) 教育活動

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 (3) 2 1
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1

12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	(4) 3 2 1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	(4) 3 2 1
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	(4) 3 2 1

① 課題

4 において、一部実践的な職業教育を導入したが、即戦力が身についているとは言い難い。

8 において、外部講師からの成績評価、一部実習において外部評価を取り入れたが、実習全ての内容には至っていない。

② 今後の改善方策

上記課題において、理容美容分野に関して、実務に関する知識・技術・技能などについて知見のある企業と連携体制を確保して実践的な職業教育を導入したがまだ不足しているため、以下の項目を改善中である。

・実習、実技、実験又は演習の授業
・実務に関する知識・技術・技能を修得・向上するための研修
・授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修

③ 特記事項

理容業・美容業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、理容・美容分野における実務に関する知識、技術及び技能について、企業と連携して組織的に教育を実施している。特に令和6年度より英国City&Guilds 国際ライセンス取得が可能になった。

また、教職員の能力開発のための本校独自の研修も行っている。今後は、より効率的に学ぶためにICT教育を研究したい。

(4) 学修成果

評 価 項 目		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
1	就職率の向上が図られているか	(4) 3 2 1
2	資格取得率の向上が図られているか	4 (3) 2 1
3	退学率の低減が図られているか	4 (3) 2 1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 (3) 2 1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 (2) 1

① 課題

3 において、退学者の減少が見られたが更に減らしたい。

5 において、卒業後のキャリア形成は理容・美容業界や各サロンに委ねている。

② 今後の改善方策

5 において、理容・美容業界各サロンや専門誌と連携し、キャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用したい。また、卒業後の学び直しの機会を学校で提案したい。

③ 特記事項

退学対策の一環として固定担任制を廃止し全員担任制を導入し、どの教員にも相談が可能な環境作りに取り組んでいる。

後援会を通して卒業生の活躍を把握できるようになった。

(5) 学生支援

評 価 項 目		適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	(4) 3 2 1
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 (3) 2 1
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 (3) 2 1
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4 (3) 2 1
7	保護者と適切に連携しているか	4 (3) 2 1
8	卒業生への支援体制はあるか	4 (3) 2 1
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 (3) 2 1
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	(4) 3 2 1

① 課題

5、8、9 において、概ね良好と判断しているが卒業生に対し課外授業等の案内が不足している。

② 今後の改善方策

5、8、9 において、数多くの課外授業を設置し、在校生、卒業生、社会人に対して支援活動を実施したい。

③ 特記事項

平成生 26 年度より新たに特待生制度、奨学金制度を各 1 種増やし、入学時における特待生制度(3 種)、在学中の特待生制度(1 種)、東洋奨学金制度(7 種)を整備しており、日本学生支援機構出願資格認定校でもある。

令和２年度からは高等教育負担軽減認定校として授業料減免を実施している。

(6)教育環境

評　価　項　目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	(4) 3　2　1
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3　2　1
3	防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2　1

① 課題

３において、消防計画作成及び避難訓練は実施したが、防災マニュアルは作成中である。

② 今後の改善方策

３において、防災マニュアルを完成させたい。

③ 特記事項

英国のサスーン校とスクールシップを結んでおり、教育プログラム実施と海外研修を実施している。また、平成27年度より英国シェフィールドカレッジとフレンドシップ契約を締結、令和元年度はスペインカズカーラメイクスクールともフレンドシップ契約、令和6年度から韓国群浦eビジネス高等学校、京畿商業高等学校と教育提携を結び、理美容学生との交流を実施している(学生交流奨学金)。

本年度は、英国、韓国の理容学生が来校し学生交流を実施した。

(7)学生の受入れ募集

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2　1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	(4) 3　2　1
3	学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3　2　1

① 課題

１において、学生募集活動は積極的に行っているが、理容科、美容科共に定員を満たしていない。

② 今後の改善方策

１において、定員を満たすための方策を模索したい。

③ 特記事項

平成27年度から遠隔地からの入学希望者に対して交通費補助を実施している。本校の教育を広く知らしめるためにも有効なサポート体制である。

⑻財務

評　価　項　目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	(4) 3　2　1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	(4) 3　2　1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3　2　1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3　2　1

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

⑼法令等の遵守

評　価　項　目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3　2　1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3　2　1
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 (3) 2　1
4	自己評価結果を公開しているか	(4) 3　2　1

① 課題

3において、問題点の改善を行っているが十分とは言い切れない。

② 今後の改善方策

3 において、すべての評価項目においての改善を急ぎたい。

③ 特記事項

なし

(10)社会貢献・地域貢献

評　価　項　目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 (3) 2 1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 (3) 2 1
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 (3) 2 1

① 課題

3 において、依頼があった場合は受託しているが、積極的に案内をしていない。

② 今後の改善方策

3において、多くの公開講座等を準備し、強く地域にアピールしたい。

③ 特記事項

例年、夏期休暇中や他校学園祭に、ボランティア活動を実施している。また、オープンキャンパスにおいて、理容美容業界と連携し地域の方を招いて実習体験を実施している。

(11)国際交流

評　価　項　目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 (1)
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 (1)
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 (1)
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 (3) 2 1

① 課題

1、2、3において、現状では留学生の受け入れを行っていない。

② 今後の改善方策

1、2、3において、海外の理容美容学校や理容美容サロンと提携し、留学生受け入れの方法を模索したい。

③ 特記事項

英国のサスーン校とスクールシップを結んでおり、教育プログラム実施と海外研修を実施し、評価を得ている。

平成 26 年度より英国シェフィールドカレッジとフレンドシップ契約を締結、平成 27 年度から海外学生交流を実施、また令和 6 年度から韓国群浦eビジネス高等学校、京畿商業高等学校と教育提携を結び、理美容学生との交流でも大きな成果を挙げている。

本年度は、英国、韓国の理容学生が来校し学生交流を実施した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年間の事業計画の遂行や自己評価項目については概ね良好であり、学校の運営状況も良好である。令和 4 年度には 3 号館補修工事が完了し、2 号館改修工事、1号館の耐震改修及びリニューアル工事完了、本館新築と共に学習環境が格段に向上した。

この環境を活かし次年度に向けて、実務に関する知識・技術・技能などについて知見のある企業と連携体制を確保して、以下の項目を計画的に実施したい。

1. 現状の教科課程と教育効果、教育結果を検証し、「教育課程編成委員会」の意見を取り入れ、改善を図る。
2. 実習、実技、実験又は演習の授業に卓越した技術を有する外部講師を起用する。
3. 教員に対し、実務に関する知識・技術・技能を修得・向上するための研修を実施する。
4. 教員に対し、授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修を実施する。

また、自己評価項目の問題点については、なるべく早い時期に改善を図るべく努力したい。